

5 文の組み立て

5-1 解説

1 節

一文中に主語・述語の関係が複数出てくるとき、一回の主語述語の関係を「節」という。

2 文の種類

(1) 文の組み立てからの分類 → 一文中の主語・述語の関係で分ける。

① 単文…節をふくまないもの(主語・述語の関係が一回だけの文)。

[例] 美しい 花が 庭に 咲く。

② 重文…節が並立の関係で結ばれて、一つの文になっているもの。。

[例] 花は 咲き、 鳥は 歌う。

③ 複文…節が文の成分になっているもの。

[例] 君が 登ったのは どの山か。 (主部の中に節)

[例] 象は 鼻が 長い。 (述部の中に節)

[例] 父の 運転する 車で かえって きた。 (修飾部の中に節)

[例] 雨が 降ったので 道が 悪い。 (接続部の中に節)

[例] 女性が あこがれる パリ、それは 美しい。 (独立部の中に節)

(2) 文の性質からの分類 → 一文の性質がどういうもので分ける。

① 平叙文…ことがらを述べるふつうの文。

[例] 鳥が鳴く。

明日はよい天気でしょう。

② 疑問文…相手に問いかけ、疑問を表す文。

[例] その本はおもしろいですか。

出発なさいますか。

③ 命令文…相手に命令をする形の文。禁止などもふくむ。

[例] 早く来い。

ごみを捨てるな。

④ 感動文…話し手の感動を表した文。

[例] まあ、なんときれいなこと。

ああ、素晴らしいなあ。